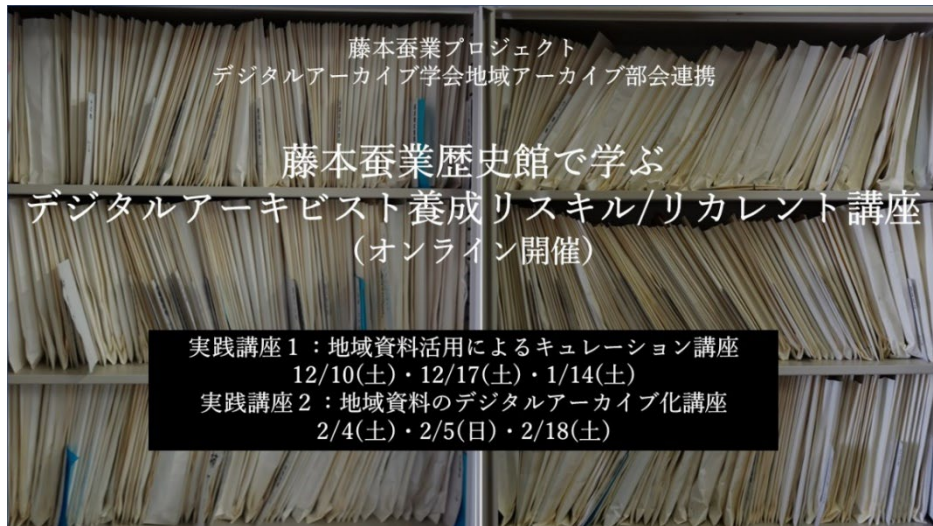


藤本蚕業歴史館で学ぶ
デジタルアーキビスト養成リスキル/リカレント講座
アンケート結果



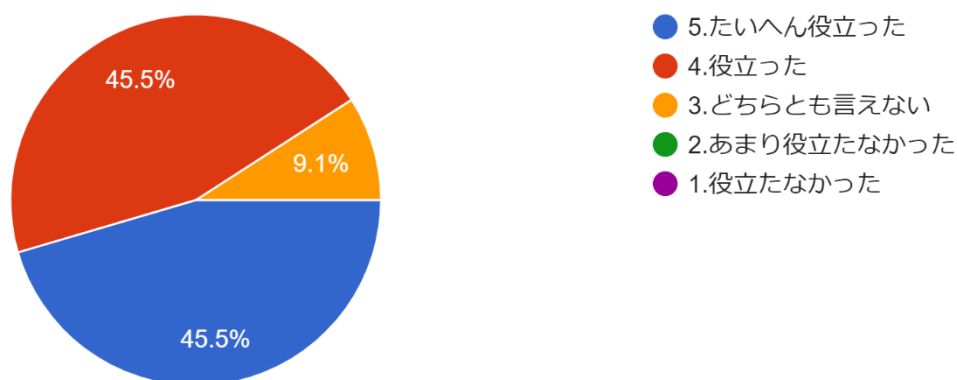
実践講座1:地域資料活用によるキュレーション講座
全3回(2022/12/10, 12/17, 2023/01/14)
アンケート結果

2023/02/27

藤本蚕業プロジェクト

藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
実践講座 1:地域資料活用によるキュレーション講座
全3回(2022/12/10, 12/17, 2023/01/14)
アンケート結果(11名の回答)

▼第1日(12/10)の講座は役に立ちましたか？



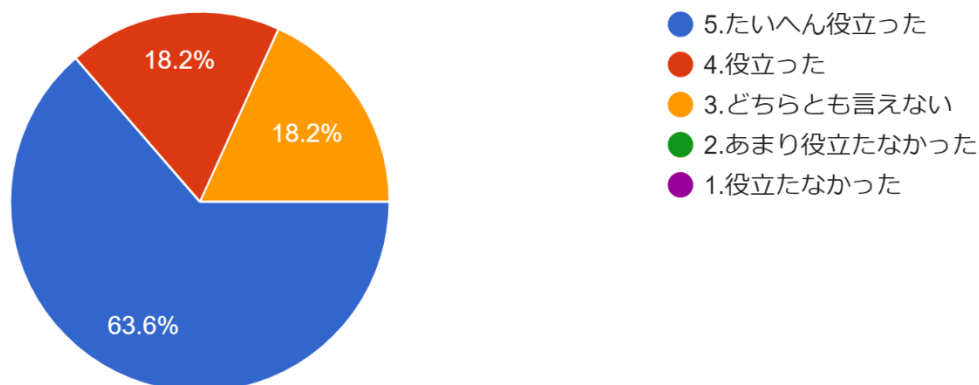
▼第1日(12/10)の評価理由

- ◆藤本蚕業の資料から、二二六事件への興味につながるなど、キュレーションの実例を得て、考えるヒントになったと思います。
- ◆自館の郷土資料をデジタル化できそうな前向きな考えになりました。
- ◆オンラインで見学をさせていただいたのも面白かったです。
- ◆デジタルアーカイブ構築に対する前川先生のお考え(何を残すべきか)や受講生の皆さんの取り組みを伺って、大変勉強になりました。また現地に行くのと近い感覚で歴史館周辺や内部を見学でき、蚕業の作業工程、蚕の生態等が純粋に興味深かったです。
- ◆午前中の藤本蚕業歴史館訪問は、蚕業に関心なかったにもかかわらず、また、実際に訪問したわけではなくオンラインだったにもかかわらず、ある程度興味をもって全体の概要を知ることができた。午後の講座では、参加者の問題意識を知ることができ、参考になった。
- ◆別に聴力にも機械にも問題はないのに、音量を最大にしても聞き取りにくい。
- ◆江戸末期から明治にかけての家内工業やプロト工業についてのわずかな知識が、急に実感を帯びました。蚕糸業の行程を知り、NDC分類63が設けられている訳が分かりました。
- ◆実際に狭い範囲での地域資料アーカイブの実践例とキュレーションについて学べて非常に面白かったです

◆キュレーションについてほとんど知識がなかったため、非常に新鮮な講座でした。d-commons.net の存在と内容について知ることができたのも大きかったと思います。

◆私も含めて様々な分野に関心のある方々が参加されていて、とても緊張しました。デジタルアーキビストの資格を一昨年に取得しましたが、学び直しやスキルアップを目的として、受講しました。

▼第2日(12/17)の講座は役に立ちましたか？

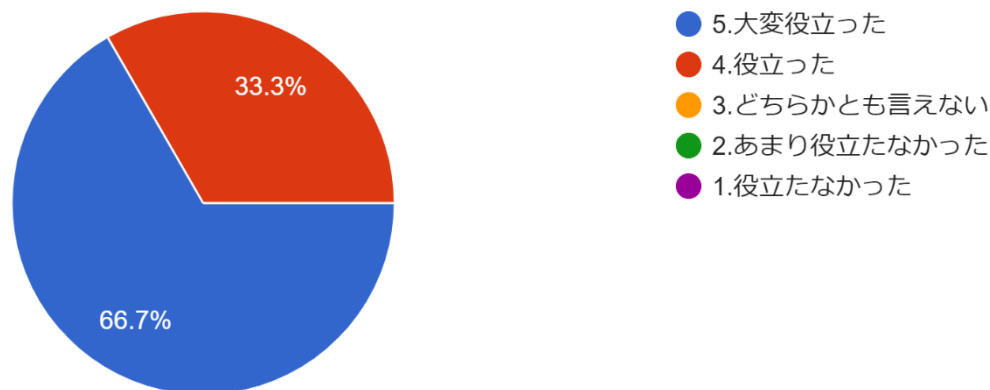


▼第2日(12/17)の評価理由

- ◆d-commons.net マイサイト実習の体験は、デジタルキュレーションのあり方を考える大きな入り口になったと感じています。それまでは「下諏訪町」のサイトは知っていましたが、大きく理解が深まりました。さらに活用の仕方を学びたく思っています。
- ◆実際に作業に関わった方の話を伺ったり、デモ作業をさせていただけて参考になりました。
- ◆地域資料をアーカイブする作業の具体的な手順や大変だったこと、資料の価値、特にそれらを現代的視点からどう捉えるかについて、興味深く聞かせていただきました。私自身はSNSをほぼやらないため「みんなで作る信州上田デジタルマップ」への投稿などを実際に経験できたことも勉強になり、楽しかったです。
- ◆専門的な産業史料を通して近現代史の課題を見つけられる桂木氏、小平氏の姿勢に、学ぶところがあった。
- ◆別に聴力にも機械にも問題はないのに、音量を最大にしても聞き取りにくい。指示が不明瞭。
- ◆第一次資料を使ったキュレーション型学習を推進する主旨、「知識消費型社会から知識循環型社会へのパラダイムシフト」が響きました。学校教育もまさにその転換期にあると思います。
- ◆アーカイブすることだけでなくキュレーションの面白さを学びました。デジタルアーカイブが利活用されるために必要な講座だと感じました
- ◆藤本蚕業の資料に出張報告を散見し、昭和初期の鉄道を調べるきっかけとなりました。今は新幹線が走っていますが、関東へ直通する在来線はありません。当時、上田から関東圏へどのような旅をしたのか、興味を持ちました。

- ◆藤本蚕業アーカイブを中心に、実際のアーカイブを見せていただきながら、前川先生のアドバイスを聞きながら、キュレーションの仕方について学びを深めることができました。
- ◆オンデマンドで受講したため、私には適切に評価できない。敢えて言うならば、内容ではなく音声をもう少し聞き取りやすくしてほしい。

▼第3日(1/14)の講座は役に立ちましたか？



▼第3日(1/14)の評価理由

- ◆江戸や明治の古い事象が述べられていて、興味深かったのですが、レジュメに添えられている資料番号を当たっても、藤本蚕業資料サイトからは検索できませんでした。
- ◆古文を読める方が近くにいらっしやると大変心強いな、私たちの地域に協力を望める識者はいらっしやるのかな…と思いました。どう協力を仰ぐか、連携をとるかから考えたいと思います。視点が偏らない大切さも感じました。
- ◆桂木さんの「1980年代から一次資料をないがしろにする風潮があった」「政治的プロパガンダに惑わされない史実の重み」、小平さんの「愛国心に陥ってはならない」「全体の中に位置づける客観的な視点が必要」というお話にとっても感銘を受けました。
- ◆日本で敗戦が決まって真っ先にやったことは軍の内部文書の焼却だったという話はデジタルアーカイブを学び始めた最初に聞いて強く印象に残っていましたが、桜を見る会や最近の少年事件資料の廃棄の件など見ても、記録を残すことに対する日本社会の意識の低さを感じずにはいられず（特にスポーツ・デジタルアーカイブの分野でひしひし感じます）、デジタルアーキビストとしてどうあるべきか考えさせられました。
- ◆まず膨大な史料を整理されたことに敬意を表したい。また、それらの中から、近現代史の問題をすくいあげてまとめられていることに感心した。
- ◆オンデマンドで聴いているので、特になし。
- ◆篠原様のおっしゃった「探究のたね」は、藤本蚕業歴史館 DA と受講生の中に播かれていることが分かりました。皆さんのご発表を拝聴して創作意欲がわきました。
- ◆他の発表者さんたちの内容が非常に面白く刺激になりました。自分の発表は画面共有がうまくいかず、申し訳ありませんでした。
- ◆キュレーション（のようなもの？）を初めて発表したり、その際に初めて画面共有を行うなど、実体験することができたのは大きかったと思います。

◆皆さまのキュレーションを拝見できて大変勉強になりました。自身の発表では、いつも以上に緊張してしまいましたが、プレゼンテーションする良い経験になりました。

◆拙い中間報告に様々なコメントを頂けた。

◆発表内容は、それぞれ興味深いものでした。タイポグラフィーの発表は、こういうアプローチの仕方もあるのか、と新鮮でした。光が丘の取り組みは意義あるものと思いました。私自身の場合もキュレーションとは言えなかったのですが、キーションということではもう少し発表事例が欲しかったと思いました。

▼実践講座2全体を通して

▼藤本蚕業歴史館と所蔵史料についてご関心を持たれたことなどは？

- ◆昭和に入って、遠方への出張が多くなったように見受けられて興味を持ちました。上田からの鉄道の便が向上したのではと想像しています。
- ◆5～6年かかったとのことでしたが、1日の作業時間など伺いたいです。
- ◆最初に大まかな進行計画を立てて、作業を進められたのでしょうか。
- ◆「こがいのまなび」が配布されていた範囲(範囲)
- ◆微粒子病など感染症対策(蚕室の消毒以外)
- ◆養蚕は畜産というイメージで捉えていたが、蚕種という生命あるものを製品にするまでの過程というより工程が工業そのもので驚いた。
- ◆犬や猫が長い歴史の中で人間の伴侶となってきたのと同様に人間と密接に関わってきた蚕が人間の介助なしには生きられないレベルに生物としては退化しているとは衝撃だった！
- ◆正直なところ蚕業関係の史料には興味を持てなかったが、所蔵資料のなかに一般図書があり、図書貸出し簿もあるということから、興味が生じた。
- ◆蚕業に関する雑誌、蚕業には直接関わらないが当時の背景を知ることができる図書・雑誌資料。取引に関する帳簿。
- ◆蚕業については本当に無知ですが、貴重な所蔵資料はどれも気になりました。
- ◆長野県は南北に広く、山々で区切られているため、地域によって文化が閉ざされ、分立しているイメージがあります。「蚕」を通して県内外に多くの文化交流があったのではないかと想像し、そのような資料がないかと興味を持ちました。
- ◆普段目にしない資料に触れて、蚕種、養蚕、製糸について興味がわきました。特に、蚕品種の多様さに驚き、その研究の歴史的背景や社会の変化に伴う品種の移り変わりや、養蚕に使用された機器などについても詳しく調べてみたいと思いました。
- ◆個人情報の関連で難しいと思いますが、従業員の性別・人数・担当業務が経年変化で分かるとジェンダー史的に面白いキュレーションが可能だと思います。

▼全般を通して学んだこと、もっと知りたかったことなど

- ◆デジタルコモンズサービス d-commons.net の活用例が多く見られると、非常に参考になると思いました。
- ◆キュレーション自体を図書館としてもっと広げ、地域の学びに繋がれたらと思います。デジタルアーカイブ学会でよく言われる「哲学」を改めて学んだ思いです。

- ◆デジタルアーカイブ構築、特に技術面（プラットフォーム、メタデータ、他のアーカイブとの連携等）について、次回の講座を楽しみにしております。
- ◆オンデマンド学習は復習には向いているが、印象に残りにくい。
- ◆自分の取り組みの可能性と、より具体的な計画を立てることができました。ありがとうございました。
- ◆d-commons.net のさらに詳しい活用法について知りたいと思いました。
- ◆また、d-commons.net がどのようにアクセシビリティに対応しているのか知りたいと思いました。
- ◆キュレーションの定義がまだ私自身よく理解できていないのではと思っています。
- ◆これから自分が取り組んで行きたいことに少しずつ近づいていけるようこれからも常に学んでいきたいと思っています。できれば、下諏訪町のアーカイブについて導入することになった経緯など、あと導入費用についても具体的にお話を聞いてみたいと思います。今直ぐには、あらゆる面でとても無理ですが、地域の歴史を市民を巻き込んでアーカイブしていく事は大切だと思うので、実現に向けての参考にさせていただきたいと思います。
- ◆入口に立ったばかりなので、わからないことばかりです。ただデジタル化に関して、先生がスキャナー付きのコピー機でデジタル化されている姿を拝見して、思っていたよりも手軽にできる！と驚きました。以前にもコピー機を使う、と話されてはいましたが、目の当たりにして、実感しました。
- ◆デジタル資料とプラットフォームの容量の関係など、見当が付きません。おおよその目安など教えていただければ幸いです。

▼キュレーションについてご質問、ご要望など

- ◆今はありませんが、随時お問い合わせを受けていただける窓口がありましたら教えていただけますでしょうか。
- ◆「キュレーション」の語義がよくわかりません。自分自身の探究の場合でも、キュレーションを使うのでしょうか？ それはどのような活動を意味しているのでしょうか？ クレジットを付けても、資料の半分を提示することは違反ですか？ プレゼン時に拡大表示をしたい場合。
- ◆d-commons について、ぜひ実際に使用させていただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。
- ◆キュレーションの知識や実力を、向上できるような講習や機会などがありましたら、今後も教えていたさきたいと思いました。
- ◆キュレーションについてまだ迷っています。これからも学ばせて頂きたいと思います。ありがとうございました。
- ◆キュレーションがどのようなものなのか、十分に理解できていないのですが、キュレーシ

ョンをするには、資料全体（もしくは、なんらかのテーマ）の概要を知っていること、資料の周辺について知っていることが不可欠だと思いました。

◆下諏訪町図書館のアーカイブは、市民が参加する仕組みやデジタル資料を蓄積していく場を提供しているわけですが、図書館はキュレーションはしていませんよね。下諏訪町図書館のアーカイブを使ってキュレーションするのは、それを利用する人、ということになるのでしょうか。